

別表 1

不動産鑑定士		所属		記入日		物件名称		物件所在地	
--------	--	----	--	-----	--	------	--	-------	--

エンジニアリング・レポートの基本的属性・入手経緯

エンジニアリング・レポートの基本的属性・入手経緯	作成者	依頼者	調査年月日	作成年月日	入手先	入手年月日
	A					
	B					
	C					
	D					

提出されたエンジニアリング・レポートについて、鑑定評価を行う上での対応方針、不動産鑑定士の調査の必要性・内容等	
---	--

調査内容及び作成者 (※作成者欄には上記A、B、C又はDを記載)	作成者からの説明	項目	エンジニアリング・レポートの活用又は不動産鑑定士の調査の別	鑑定評価において活用した事項とその根拠
1 建物状況調査		立地概要調査		
		建物概要調査		
		設備概要調査		
		構造概要調査		
		公法上及び私法上の規制、制約等(法令遵守状況調査を含む。)		
		更新・改修履歴とその計画の調査		
		緊急修繕更新費		
		短期修繕更新費		
		長期修繕更新費		
2 建物環境調査		再調達価格		
		アスベスト(フェーズⅠ)		
		PCB		
	その他の項目			
3 土壌汚染リスク評価		土壌調査(フェーズⅠ)		
4 地震リスク評価		簡易分析		
		詳細分析		

地下埋設物				
建物環境調査		アスベスト(フェーズⅡ)		
土壌汚染リスク評価		土壌調査(フェーズⅡ)		
		環境アセスメント等		
耐震性調査		建築士等による耐震診断		

①「フェーズⅠ」とは現地調査・資料収集分析・ヒアリングによる有害又は汚染物質の可能性の調査、「フェーズⅡ」とは試料採取と化学的分析による有害又は汚染物質の有無の確認を行う調査。「簡易分析」とは統計的な手法による分析、「詳細分析」とは解析的な手法による分析。